

「地方創生」の時代へ 農地転用の権限が総社市に

市では、現在、企業誘致が進み、人口増が見込まれています。しかし、農地を一定規模以上の工場や商業施設の用地などに転用する上で必要な農地転用の許可権限が市にないことが、企業誘致を推し進める上で支障となっていました。

これまで市では、全国市長会や国・県への要望活動などを通じて、農地転用の



農地転用の権限移譲を受け設置された「農地転用権限移譲等ワーキンググループ」の初会合。主体性をもった土地利用について話し合われた

許可権限を市町村に移譲するよう求めてきました。

総社市をはじめ多くの自治体からの要望を受け、農地の総量確保を担保しつつ、農地転用の許可権限を地方に移譲する地方分権一括法が6月19日、参院本会議で賛成多数により可決、成立。平成28年4月から、転用許可の権限が市にも移譲されていきます。

— 地方自治体の先頭に立ち奮闘した要望活動 —



市が提案した「再生農地等交換制度」を、政府が検討している「農地中間管理機構」関連法案に盛り込んでもらうよう、林芳正農林水産大臣に要望（写真左上 H25.8.26） 稲田朋美行政改革担当大臣へ再生農地等交換特区設置についての提言書を提出（写真右上 H25.11.14） 「まち・ひと・しごと創生会議」の地方活性化策検討会合で農地転用の規制緩和を提言（写真右 H26.10.9）



このことを受け、権限移譲に早急に対応し、総社市の実情にあった土地利用を行うため、「農地転用権限移譲等ワーキンググループ」を設置。6月30日、総合福祉センターで初会合を行いました。

同グループは、市長を本部長に、政策監や関係各部署長ら13人で構成。権限移譲の内容把握や農地転用区

— 農地転用？ Q & A —

- Q1** 農地転用ってなに？
- A** 農地を商業施設や住宅など農業以外の用途に変更すること。農地転用は農業生産力を維持していくため農地法によって許可制としています。
- Q2** これまでの農地転用の仕組みはどうだったの？
- A** 今まで一定規模以上の農地の転用許可権限は国にありました。そのため国の判断に時間がかかり、土地利用に支障が出ていました。
- Q3** 農地転用許可の権限を地方へ移すとどうなるの？
- A** 国がもつ農地転用の許可権限が自治体に移ることで、事務処理期間の短縮につながり、市の実情にあった土地利用が円滑に行えるようになります。

域の検討などを行います。

現在市では、企業誘致や英語特区などさまざまな独自政策により人口が増え、まちの形が変わりつつあります。農地転用許可の権限が移譲され、地域の実情にあった、主体性のある土地利用が可能となるよう、今回の権限移譲をチャンスと捉え、「地方創生」を実現していきます。

「そうじや・宮城っ子基金」でつながる絆 被災した宮城の子どもも1737人を招待

野球少年団チームの交流試合も開催

6月28日に仙台市のコボスタ宮城で開かれた、プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスの試合観戦に、「そうじや・宮城っ子基金」をとおして支援を行った子どもを含む、宮城県内の子どもら1737人を招待。前日の27日には、仙台市と総社市の野球少年団の交流試合も行われました。総社市では今後も引き続き宮城っ子への支援を全力で続けていきます。



招待席の様子。大きな声援を送って盛り上がっていた



楽天とソフトバンクの選手に記念品を手渡す

宮城県を訪れて感じたこと 池田スポーツ少年団

- 野球をとおして、心の交流ができたと思います。
- 立町少年野球クラブのみんなが少しでも元気になればうれしいです。
- 被災地を見学することで、震災の恐ろしさを感じました。
- 震災で家族と離れ離れになった人がたくさんいると思うと、とても悲しくなりました。
- 岡山県は地震が少ないけど、日ごろから避難方法を確認することが大切だと思いました。



友好を深めようと懸命にプレーした



一日も早い復興を願う

交流試合を行った、池田スポーツ少年団と仙台市の立町少年野球クラブの選手ら



招待した宮城っ子からのお礼の手紙とはがき